



プロジェクト名称

Shibaura candle night

活動概要・目的 活動期間 2013年6月 日 ~ 2014年 月 日

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけ電気を消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っております。

2011年は東日本大震災が起こったことにより、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを機に人々に電気の明るさだけに頼るのではなく、ろうそくの明かりの大切さと脱・原子力運

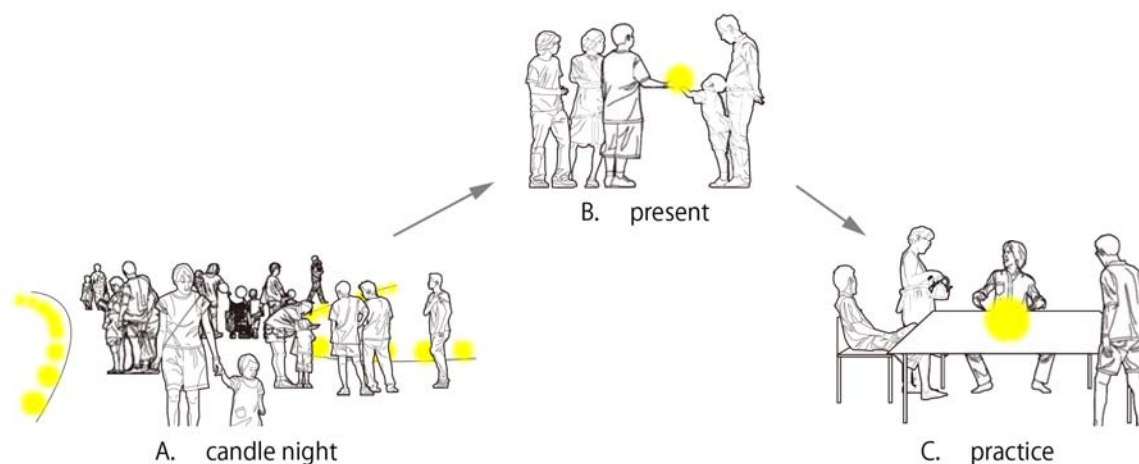
動を知り、省エネやエコについての考えを増やしてほしいと願っています。

夏至には芝浦工業大学大宮キャンパスで、冬至にはアトレ川崎でキャンドルナイトを行っており、また、地域交流として地域の方々にワークショップを開き、ろうそくの身近さを知っていただく機会を設けます。

■ candle night の活動コンセプトフロー

- A. candle night に足を運んでいただき、作品に触れることで、火の良さを知って頂く。
↓
- B. アンケートに答えていただき、キャンドルをプレゼント。
↓
- C. 帰宅後、家で、でんきを消してスローな夜を体験して頂く。

上記の矢印流れで、キャンドルを持ち帰って頂き、実際に家で灯すことによって、家族と火の良さを分かち合い、エコや節電について考える機会を創出する。





年間活動実績

日時	活動概要	活動場所	活動内容
4月	新入生歓迎会	芝浦工業大学 大宮校舎	年間計画 MTG、チラシ配布、説明会 各資料作成 (ポスター、チラシ、PPT)
	キャンドル教室 (新入生対象)	芝浦工業大学 大宮校舎	プロジェクト新入生 (学年不問) を対象とし、実際にキャンドルを作ってもらう。
5月	イベント準備	芝浦工業大学 大宮校舎	テーマ、コンセプト MTG スタディ模型作成、安全面検討等
6月	イベント準備及び運営 candlelight @Omiya	芝浦工業大学 大宮校舎 芝浦工業大学 大宮校舎	配置計画案作成、企画書提出、消防等の確認作業 ポスター・フライヤーの作成、広報など 【イベント当日】 アンケート調査、プレゼントキャンドルの配布、安全面等の確認等、事後反省会
7月	イベント準備	芝浦工業大学 サテライトラ ボ	配置計画案作成、企画書提出、消防等の確認作業 ポスター・フライヤーの作成、広報など
8月	candle night @ageo	さいたま市 上尾団地	【イベント当日】 アンケート調査、珈琲研究会・ギターアンサンブルとのコラボ企画、安全面の確認等
	candle night @ageo	さいたま市 上尾団地	【イベント当日】 アンケート調査、プレゼントキャンドルの配布、安全面等の確認等、事後反省会
9月	企画会議	芝浦工業大学 大宮校舎	
10月	イベント準備	芝浦工業大学 大宮校舎	テーマ、コンセプト MTG スタディ模型作成、安全面検討等
11月	イベント準備及び運営 candlelight @Tamachi	芝浦工業大学 大宮校舎 芝浦工業大学 芝浦校舎	配置計画案作成、企画書提出、消防等の確認作業 ポスター・フライヤーの作成、広報など 【イベント当日】 アンケート調査、安全面等の確認等、事後反省会
	イベント準備	芝浦工業大学 大宮校舎	テーマ、コンセプト MTG、企業との打ち合わせ スタディ模型作成、安全面検討等
12月	イベント準備及び運営	芝浦工業大学 大宮校舎	配置計画案作成、企画書提出、消防等の確認作業 ポスター・フライヤーの作成、広報など



12月	candle night @atreKAWASAKI 年間反省会	atre 川崎 5F スカウト 芝浦工業大学 大宮キャンパス	【イベント当日】 アンケート調査、プレゼントキ ャンドルの配布、安全面等の確認等、事後反省会 年間反省会
-----	--	---	--

プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

プロジェクトの成果

1. candle night @omiya campus

■実施日時：2014年6月20日（金）19:30~21:00

■実施場所：芝浦工業大学大宮校舎

■テーマ：宇宙（そら）

■目的：でんきの明るさだけに頼るのではなく、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考える機会を増やす。

<インスタレーション>

■目的：空間演出によって火の良さを体感して頂き、省エネやエコについて考え直して頂く。

■イベント当日の状況：イベント事態は、突然の雨により途中中断となった。全体は、大きく分けて”地上・宇宙・異次元・動線”の4つのインスタレーションに分かれている。

”地上”では、「そらから見た地球」を表現し、いつも見ている風景から、少し視点を変えてどれだけ私たちが灯りを使っているかを表現した。（作品名：空から見た地球）

”宇宙”では、でんきを消すことで見えてくる、そらの明るさに気付いて頂くことを目的とし、惑星や銀河をろうそくや瓶の配置によって表現した。（作品名：PLANET-2014, プラネットカラー, スターダスト, ユニバース）

”異次元”では、宇宙と地上を様々な角度から見て頂くため、莫蔭を敷き、アイラインよりも低い高さで楽しんで頂いた。また、フィルムのついた眼鏡をかけて頂き、揺れ動く火とそれを拡散した光を楽しんで頂いた。

”動線”では、日常・非日常であるこの一瞬・そらをつなぐおもいを表現した。（作品名：生・瞬・天）

このように、様々なコンセプトの作品を用いることで、来場して下さった皆様に、”火の良さ”を知って頂いた。

■当日の様子







2. candle night @ageo

■実施日時：2014年8月9日（金）19:30~21:00

■実施場所：埼玉県上尾市原市団地内

■テーマ：宇宙（そら）

■目的：地域とのつながりを生み出すことで、より多くの人々、様々な種類の人々に活動を知って頂く。

■イベント当日の状況

今回も前回同様、雨が降ってしまった。しかし、幸いなことにイベント開始直前に止んだため、30分の遅れで済んだ。今回の作品は、前回の作品をブラッシュアップしたものを使用した。瓶による作品が多く、片付けの際に瓶が重なる音が騒音になり得ると感じた。そのため、次回以降の団地で使用する作品では、片付けの際に出てしまう音やゴミなどへの考慮を怠らないよう気をつけたい。とはいうものの、イベント自体は大成功であった。多くの団地の方々に参加していただき、今までのイベントでは見られなかった”滞在”してくださる方が多く見受けられた。これは、作山教授をはじめとした研究室の皆様、及び、コーヒー研・ギターアンサブルの皆様のご協力の賜物であったと感じている。今年の活動目標である”大学内外との一体化”に大きく近づく candle night にとって、機転となるイベントになった。

ワークショップでは色のついたクリアファイルを切り出したものに、来て頂いた方々に一人ずつメッセージを書いてもらい、それをゴミとして捨てられる前のペットボトルに巻き、シャッターに張っていった。完成すると、モザイク絵の地球が浮かび上がる。多くの方々に参加して頂き、完成することができた。

■当日の様子





3. 上尾市原市団地納涼祭

■実施日時：2014年8月9日（金）19:30~21:00

■実施場所：埼玉県上尾市原市団地内

■目的：地域とのつながりを生み出すことで、より多くの人々、様々な種類の人々に活動を知って頂く。

■イベント当日の状況

元々、行う予定ではなかったインスタレーションだが、前回のcandle nightに参加して頂いた方々から多くの好評の声を頂き、自治体の方からもぜひやって頂きたいとお声をかけて下さったため、急遽空いていたスペースでのインスタレーションを行った。今までの大きなスペースでの空間演出とは違い、キャンドルに囲まれた、火の温もりを肌で感じる事ができるインスタレーションになった。前回のインスタレーションとは違い、子連れの夫婦が多く、今回と前回の二つの原市団地でのイベントを通して若い世代からお年を召した方まで幅広い世代にcandle nightの活動を知って頂いた。

納涼祭期間中に行ったキャンドル販売では、我々が作成したキャンドルを販売することで、得た資金を次回の原市団地の資金にすることを目的とする。小学生を中心とした多くの方々が興味を持ってくださり、約60個のキャンドルを販売することができた。

■当日の様子



4. candle night @Tamachi campus

■実施日時：2014年11月21日（金）19:00~21:00

■実施場所：芝浦工業大学 芝浦キャンパス 1F

■テーマ：日常・癒し・非日常

芝浦キャンパスのある田町駅周辺は、日々オフィスワーカーが行き交い、忙しく歩いている。朝早く大勢の中に紛れながら通勤し、昼は食事処が満席になり、夜は明るい街灯を横目に帰るといふ何気ない一日の流れ。ここには単調な日常が常日頃存在している。私たちはそんな[日常]に対し、ろうそくの灯かりという[癒し]をツールとし、[非日常]を表現した。

■目的

2011年～活動を開始して以来、初めての開催地となる芝浦キャンパス。芝浦工業大学のもつ、3キャンパスの中でも正面玄関の前を通過する人々の量が多く、そのままでも宣伝効果を見込むことができる場所である。そのため、より多くの方々に見ていただくことができ、芝浦工業大学並びに、学生プロジェクト candle night として認知度の向上につながると考えた。

■イベント内容

作品の材料は一般的にゴミとして捨てられているものを使用。PET ボトルや空き瓶、新聞紙、空き缶等を用いることで、各作品が再利用による作品であることを伝え、テーマとなる「日常」ということにもつながる。「日常」として使われる材料を用いることにより「非日常」という印象をより身近に感じてもらえると考えた。

■当日の様子



5. candle night @ atre KAWASAKI

■実施日時：2014年12月20日（土）17:00~20:00

21日（日）17:00~20:00

■実施場所：atre KAWASAKI 5F スカイコート

■テーマ：CIRCUS ～サーカス～

動物を使った芸や人間の曲芸など複数の演目で構成される見世物として古くから催されてきた。人々は今までに見たことのない動物人間の動きに魅了される。いつの間にかそこには人が集まり、喚起し、感動が生まれる。もしも、この世に動かないサーカスがあるとしたらどうだろう。それはテントの幕をくぐった先にある静寂と癒しを持った空間が教えてくれる。

■内容

2012年度から例年開催させていただいている、atre 川崎でのキャンドルナイト。例年ご好評いただき、今年で3回目の開催となりました。芝浦工業大学キャンドルナイトとして2014年度の集大成をここで魅せられるよう、メンバー一同張り切って参加させていただいております。今回12月20日（土）のイベントにおいて雨天のためやむを得なく中止という判断をしました。12月21日（日）には天候もよく無事開催することができました。

■当日の様子





受賞・メディア取材（新聞、広報誌、TV等）

- ① S.I.T.360 ホームページ掲載（上尾市原市団地）
- ② 芝浦ホットニュース 2014/6/22 you tube（大宮キャンパス）
- ③ アトレ川崎 ホームページ掲載（atre川崎）
- ④ アトレ川崎 ポスター掲載（atre川崎）
- ⑤ コープみらい ポスター掲載（キャンドル教室 講師）

プロジェクト活動を振り返って

（チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について）

■今後の目標・意気込み

今年は、学生プロジェクト candle night の立ち上げメンバーの卒業や1年生の大量加入により、活動方針がぶれてしまう恐れがあったため、メンバー一同、candle night とはどんな活動なのか、今向いている方向は正しいのかをもう一度考え直す年となった。今までの活動の二大イベントでもある atre 川崎での商業的なイベントだけでなく、我々の根本である省エネやエコについて多くの人々に確実に伝えていけるイベントにも力を入れていきたい。インスタレーションである空間演出は、あくまでも火の良さを通じて、来てくださった方々に省エネやエコに対してもう一度考えて頂く機会を与える”手段”であり、この空間演出が”目的”になってはいけないと考えている。そのため、今後もワークショップ（キャンドル教室）やチャリティーなどの活動を大切にしていく。今年の目標である、『大学内外との一体化』を中心に半年活動を行ってきた。今までの、大学周辺の方々を対象とした大宮校舎内での candle night だけではなく、上尾市原市団地での地域の方々を対象とした活動を行い、学生を中心とした若い世代だけでなく、より幅広い世代に candle night の活動を知って頂くことができた。

■今後の方針

2011 年度より学生プロジェクトとして活動を進めてきて、今年度の活動で4年目が終了し、活動の密度や精度・体制が整ってきたと感じている。今後も candle night という活動を続けていくために、文化会への参加を検討している。芝浦工業大学“candle night”という活動が今後も世間に認知され、芝浦祭、大宮祭、candle night という3大行事になるように精進していきたい。

■今後の展望

前述の通り、まだまだ経験の浅いプロジェクトであり、年々問題は発生しているものの各々が意識し解決の方向へ進んでいる。これはメンバー一人一人がキャンドルナイトの哲学を共有し、意識することができている結果だと考えている。一つの目標である芝浦の一大イベントとなるにはまだまだ精進する必要がある。学生プロジェクトとして活動を始め5年の年月が我々 candle night を成長させてくれたのは他でもない、芝浦工業大学関係者の方々や卒業されたOB・OGの先輩方である。今後はこのプロジェクトを大学の文化会活動として続けていきたいと考えている。思えば長いようで短かった5年という年月、支えていただいた芝浦工業大学関係者の方々には感謝しております。今後とも当プロジェクトが芝浦工業大学の大学ブランド向上に貢献できるよう、学生プロジェクト精神を引き続き継続していきたいと思っております。



ありがとうございました。今後とも candle night を宜しくお願い致します。